

IV. 地区別構想

地区別構想は、市民に身近な生活のまとまりである5つの地区の特性をいかした将来像を示したものです。

この将来像は、市民と共にすすめるまちづくりの目標であるとともに、それぞれの個性が結びつき、全体として市の将来都市像を実現していくものです。

1) 我孫子地区

「ゆとりと若さが出会い、自然と歴史が人を結ぶまち」

我孫子地区は、手賀沼や斜面林などの自然があり、多くの文化人に愛された歴史と文化に、新しさが溶けあったくらしやすいまちです。また、交通や商業など市の中心地としての役割を担っているまちです。

この自然環境や歴史・文化を身近なものとして、次代を築く子どもたちに伝えます。また、一人ひとりがいきいきとくらし、人と人との縁やふれあいを大切にします。さらに、市民や我孫子を訪れるさまざまな人々の出会いと交流から、市の中心拠点としてのにぎわいが生まれるまちをめざします。

2) 天王台地区

「こころが温かく芽吹き、くらしの中に躍動があるまち」

天王台地区は、新しいまちと、それを囲む緑豊かな古くからのまちが共存しています。また、新たにくらし始めた人や、大学や企業に学び・働く若い人たちが多くいます。そして、こうした人たちが多彩な交流を始めています。

この交流をさらに広げ、結びつきを強めてお互いを支え合っていきます。そして、それぞれの能力やアイデアが生み出す新たな活動をまちの活性化につなげていきます。

誰もが孤独になることのないまち。くらしの中で心がはずむまち。そんなまちをめざします。

3) 湖北地区

「土とのふれあいと、ふるさとの香りに包まれたまち」

湖北地区は、古利根沼や利根川の水辺や緑に恵まれ、農地や屋敷林、文化財などがふるさとも感じさせてくれます。また、区画が整理された住宅地にも、街路樹や公園、自然のままに残された斜面林などの緑があり、生活にうるおいを与えています。

この水辺、里山の緑、谷津などの豊かな自然や農地とふれあいながら、人と人とが交流を活発にし、これらの活動をとおして人がくらす環境を大切に守り育てていくまちをめざします。

4) 新木地区

「人のぬくもりと、森のやさしさが身近なまち」

新木地区は、コミュニティと福祉を重視したまちづくりがすすんだ地域で、気軽に声をかけあえる顔見知りが多く、日頃からお互いを思いやるまちです。人と人との強い結びつきは、さまざまな活動を生みだしています。

身近な森や農地と親しみ、くらしの中でお互いを支え合う大切さを、共に考え、話し合い、活動の発展につなげることで、安心して快適にくらせるまちをめざします。

5) 布佐地区

「緑があふれ、祭りに人が集う東の玄関口」

布佐地区は、水運で栄えた歴史の中で、特有の文化を育ててきました。住まいの緑と自然の緑が調和したまちは今、市の東の玄関口として、隣接するまちとの交流が盛んです。

伝統的な祭りや新たな文化をとおして、子どもから高齢者まで世代を越えた人と人との結びつきを深めるとともに、近隣市町の人たちとの交流をすすめて、のどかな自然の中で、人々の心が豊かな、魅力あふれるまちをめざします。